

平成23年度 漢那小学校 NIE実践報告

1. NIE実践校応募の動機

本校は平成20年度～22年度、沖縄県教育委員会指定研究校「開かれた学校づくり」の領域で「世界へ夢が広がる学校の創造」の研究テーマで様々な実践を通して、子どもたち一人一人が夢に向かってチャレンジしている。

具体的な取り組みでは「新聞・テレビ・インターネット」の最新情報から、世界に目を向け、世界の今の出来事や、各地の話題を見つけ、情報を整理し、まとめ、発表している。

また、教職員研修では「県内新聞を活用した学級通信の書き方、言語活動における文章表現について」など新聞を活用した研修に取り組んでいる。

さらに、学校の行事等、明るい話題が新聞に掲載できるよう「取材依頼や電話連絡による連絡」等、明るい話題が新聞記事になるよう努めている。学校の話題が保護者や地域でも話題になり、信頼される学校づくり、地域に開かれた学校づくりに寄与している。

このように、本校は新聞を活用した取り組みが日々実践されている。今回NIE事業を活用し、新聞を活用した授業実践、新聞を活用した学校経営の充実に展開していきます。

2010年度NIE実践校を希望します。

2. テーマ設定

漢那小学校テーマ

子どもたち一人一人を輝かせ、世界へ夢が広がる開かれた学校の創造
～夢に向かってチャレンジする児童の育成～

NIE実践テーマ

世界へ夢が広がる新聞活用

3. 実践内容

(1) 平成22年度の実践

サブテーマ

～新聞に親しもう～

新聞に親しむ環境作り

①新聞コーナーの設置

- ・1階多目的ホールの新聞コーナー
- ・各学年新聞コーナーの設置（各学年廊下）

1階多目的ホールの新聞コーナー 9月



5年廊下新聞コーナー 10月



②掲示板の活用

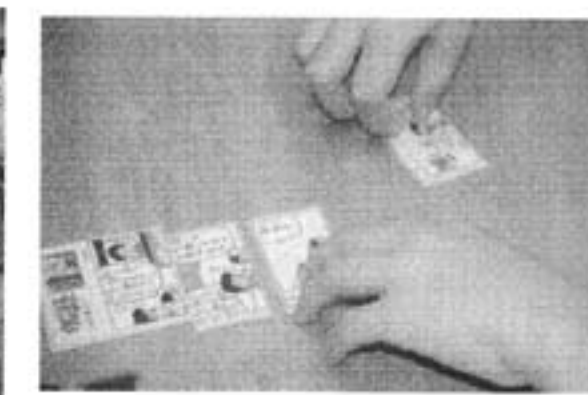
- ・1階多目的ホール掲示板の活用



- ・2階放送室横掲示板の活用



③授業での新聞活用



(2) 平成23年度の実践

サブテーマ

新聞活用を通し児童の夢を広げるとともに
表現力・言語能力を高めよう

新聞に親しむ環境作り

①新聞コーナーの設置

・1階多目的ホールの新聞コーナー

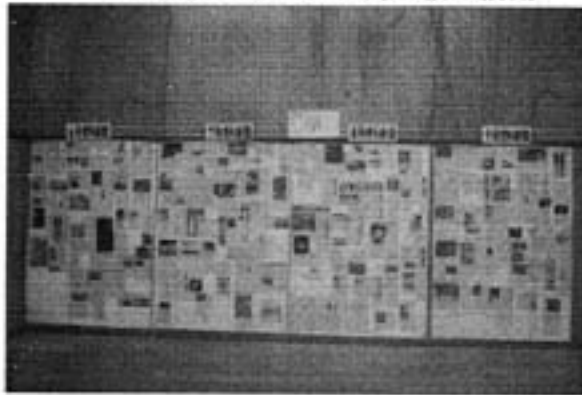


右の写真は平成24年2月の休み時間の様子です。円卓の新聞コーナーには、沖縄タイムス・琉球新報の地元2紙と他社2紙の合わせて4紙が並べられています。

22年度9月の設置当初は、地元2紙のTV版とスポーツ欄しか読まれていない状態でしたが、現在は4紙の新聞を読み比べたりして児童間での情報交換が増えています。

②掲示板の活用

・1階多目的ホール掲示板の活用



・2階放送室横掲示板の活用



*理科新聞(月間)はまず2階に掲示されその後1階へ移動されます。

③授業での新聞活用

H 23、6、29 宜野座村幼小中高合同授業研ならびにNIE実践報告会4年生指導案

<p>特別活動指導案 平成23年6月29日(水) 6時間 宜野座村小・中・高 4年1組 男子7名 女子9名 計16名 指導者 比 島 真 (T1) 宮 澤 文 (T2) 近藤 隆 (T3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の選んだ写真を発表する。 チームに合った写真を選ぶ。 スタートとゴールを決める。 すこぶく発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の選んだ写真を発表する。 自分の選んだ写真を発表する。 スタートとゴールを決める。 すこぶく発表する。
<p>1. 題材名 「新聞の写真をすこぶく発表する」</p> <p>2. 題材の概要 すこぶくは、サイコロを回して、その数字に合ったマス目にある動物の絵をさがしに遊ぶゲームで、児童にとって興味深いものである。新聞の写真を活用することで、新聞に親しむとともに、話し合い活動を通して、すこぶくのルールを定めたゲームの工夫をさせることにより、自分の意見を述べたり、相手の意見を認めたりすることが出来る教材である。</p> <p>3. 児童の理解 本学級の児童は、明るく活発な児童が多い。前期調査結果から「学校・学級の好き」という質問に対し、全員が好きな答えた。しかし、「話し合い活動が好きですか」という質問に対し、「はい」が半数、「いいえ」が半数で、「いいえ」の理由には「自分の意見が通らない」「自分の意見が通らない」などがあった。学習態度の中でも、自分の意見を言える児童はごくわずかであり、話し合い活動を行うことが難しい状況である。自分の意見を言える児童はごくわずかであり、話し合い活動を行うことが難しい状況である。自分の意見を言える児童はごくわずかであり、話し合い活動を行うことが難しい状況である。</p> <p>4. 指導目標 この授業を通して、新聞の写真を活用することで、新聞への興味関心を高めるとともに、個人やグループでの話し合い活動を行うことにより話し合いのスキルを伸ばし、話し合い活動を行ってほしい。</p> <p>5. 教材の活用 (1) 教材の活用 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 (2) 授業展開 話し合い活動を通して、お互いの意見を認め合う学習づくりができるであろう。 (3) 展開</p>	<p>4. グループですこぶく遊びをする。</p> <p>5. すこぶく遊びの準備 【スタート・ゴール決める】 ○自分の選んだ写真について話し合う。 ○自分の選んだ写真を発表する。 ○自分の選んだ写真を発表する。</p> <p>6. 発表の準備 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 話し合い活動を通して、お互いの意見を認め合う学習づくりができるであろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに話し合う。 自分の選んだ写真を発表する。 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 自分の選んだ写真を発表する。 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。

<p>6. すこぶく遊びの準備 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 話し合い活動を通して、お互いの意見を認め合う学習づくりができるであろう。</p>	<p>7. 発表 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 話し合い活動を通して、お互いの意見を認め合う学習づくりができるであろう。</p>	<p>8. 発表の準備 話し合い活動を通して、よりよいすこぶくづくりができる。 話し合い活動を通して、お互いの意見を認め合う学習づくりができるであろう。</p>
--	---	--



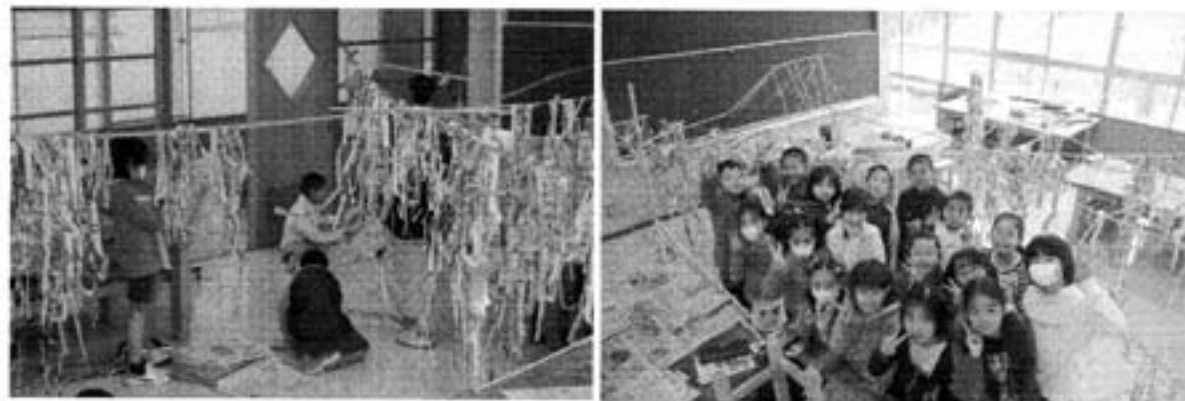
4年生授業風景



5年生授業風景



3年生図工での新聞活用



④地域へ開かれた学校 学校の取組を新聞を通して伝える



4月17日掲載

10月9日掲載

4. 成果と課題

成果

- 児童が新聞に親しみ、いろいろな情報を自ら探すようになった。
- 新聞記事や写真等から疑問を見つけ、父母や先生方に質問をするようになった。
- 理科では理科新聞から季節のイメージつかみ、この花が咲くのは何月ぐらい、この鳥の写真が載るのは何月ぐらいとよく話題になり、身の回りから季節の移り変わりに対し興味を持つ児童が増えた。
- 先生方が新聞から教材を見つけ活用したり、宿題として活用したりすることがスムーズにできるようになった。
- 学校情報を新聞に積極的に載せることによって、地域の方々の学校への関心がさらに深まった。

課題

- 児童の表現力は深まってきたが、言語能力（話す・文章を書く）の向上についてはまだまだ取り組みが必要である。
- 教科と関連させた教材研究と宿題の工夫・開発